

第80回

トラック運送業界の景況感（速報）

平成24年 10月～ 12月期

平成24年10月～12月期は、エコカー補助金制度の終了に伴う国内需要の減少、日中関係の悪化による中国内での販売不振の影響など、製造業の業績悪化がみられたが、後半には長引く円高から急激な円安に転じるなど、輸出関連企業には明るさを感じられるようになった。

このような中、トラック運送業界の景況感の判断指数は▲38となり、前回（▲51）より13ポイント上昇し、改善した。

今後は、新政権の経済政策による経済効果への期待が高まる一方で、その効果には一定の時間がかかるとの見方が強く、原油価格の上昇と急速な円安に伴う燃料コスト増が見込まれているなど、不安要因は多い。業界の景況感の判断指標は、今回から5ポイント悪化の▲43が見込まれている。

平成25年 2月 19日

公益社団法人 全日本トラック協会

Ⅱ. 調査結果

1. 今回（平成24年10月～12月期）の状況

①概況

平成24年10～12月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は11%（前回6%）、「悪化」とした事業者は44%（前回49%）で、判断指標は▲38となり、前回（▲51）より13ポイント改善した。

②特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が33%、「増加」とする事業者が16%で、判断指標は▲22となり、前回（▲32）から10ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が33%、「増加」とする事業者が14%で、判断指標は▲22となり、前回（▲30）よりも8ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が29%、「増加」とする事業者が8%で、判断指標は▲24となり、前回（▲34）から10ポイント改善した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が34%、「増加」とする事業者が27%で、判断指標は▲8となり、前回（▲18）から10ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が30%、「増加」とする事業者が22%で、判断指標は▲9となり、前回（▲24）から15ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が33%、「増加」とする事業者が22%で、判断指標は▲13となり、前回（▲26）から13ポイント改善した。

③一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が37%、「増加」とする事業者が20%で、判断指標は▲23となり、前回（▲17）から6ポイント悪化。営業収入は「減少」とする事業者が38%、「増加」とする事業者が20%で、判断指標は▲23となり、前回（▲24）とほぼ横ばい。営業利益は「減少」とする事業者が43%、「増加」とする事業者が16%で、判断指標は▲34となり、前回（▲29）から5ポイント悪化した。

④運賃水準

運賃水準は、宅配貨物は▲22（前回▲11）と11ポイントの悪化、宅配以外の特積貨物は▲5（前回▲14）と9ポイントの改善、一般貨物は▲20（前回▲20）と横ばいとなった。

⑤実働率等

実働率は▲17（前回▲19）とほぼ横ばい、実車率は▲15（前回▲19）となり、4ポイント改善している。

雇用状況（人手の過不足）は+27（前回+17）と10ポイント上昇し、不足感がやや強くなっている。採用状況は▲5（前回▲9）で指標はやや改善し、所定外労働時間も▲4（前回▲11）と改善している。

保有車両台数は▲6（前回▲11）で指標はやや改善、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は▲7（前回▲17）で指標はやや上昇した。

⑥地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、東北は相対的に水準が良い。北陸信越以外のすべての地域で改善がみられ、特に四国は前回よりも40ポイントを超える大幅な改善であった。

事業者の規模別では、大規模事業者は相対的に水準が良い。

主な取扱い品目別について、機械関連貨物は前回に引き続き水準を下けているが、機械関連貨物以外はすべての品目で改善している。

2. 今後（平成25年1月～3月期）の見通し

①概況

平成25年1～3月期の見通しは、業界の景況感の判断指標は▲43で、今回から5ポイント下げる見込み。

②特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量はほぼ横ばい、営業収入及び営業利益は改善する見込みである。

宅配以外の特積貨物は、輸送数量は悪化する見込み、営業収入及び営業利益も悪化する見込みである。

③一般貨物

一般貨物は、輸送数量は悪化する見込み、営業収入及び営業利益も悪化する見込みである。

④運賃水準

宅配貨物は改善する見込み、宅配以外の特積貨物は僅かに悪化の見込み。一般貨物はほぼ横ばいの見込みである。

⑤実働率等

実働率は水準を下げる見込み、実車率はやや水準を下げる見込みである。雇用状況（人手の過不足）は僅かに水準を上げる見込み、採用状況はほぼ横ばい、所定外労働時間はやや水準を下げる見込みである。

保有車両台数は横ばい、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は僅かに水準を下げる見込み。経常損益は水準を下げる見込みである。

⑥地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、北陸信越が水準を上げ、東北、中国は10ポイント以上水準を下げる見込み。

事業者の規模別では、小規模事業者は横ばいであるが、中規模事業者と大規模事業者は、いずれもやや水準を下げる見込みである。

主な取扱い品目別では、機械関連貨物はさらに水準を下げる見込み。

3. 特積貨物の概況

項目		概況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅	輸送数量	前回	0	9	54	34	4	(-32)
		今回	0	16	51	29	4	(-22)
		見通	0	14	55	29	2	(-20)
		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より10ポイント改善した。 ・規模別では小規模事業者及び大規模事業者が、前回から改善しており、中規模事業者は横ばいである。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 						
配	営業収入 (売上高)	前回	0	13	48	36	4	(-30)
		今回	0	14	53	31	2	(-22)
		見通	0	14	59	25	2	(-16)
		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より8ポイント改善した。 ・規模別では小規模事業者及び大規模事業者が、前回から改善しており、中規模事業者は悪化している。 ・今後はやや水準を上げる見込み。 						
貨	営業利益	前回	4	9	48	29	11	(-34)
		今回	0	8	63	27	2	(-24)
		見通	0	14	61	22	4	(-16)
		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より10ポイント改善した。 ・規模別では小規模事業者及び大規模事業者が、前回から改善しており、中規模事業者は悪化している。 ・今後はやや水準を上げる見込み。 						
物	運賃・料金の水準	前回	0	4	82	14	0	(-11)
		今回	0	2	76	20	0	(-22)
		見通	0	4	80	14	2	(-14)
		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より11ポイント悪化した。 ・規模別では小規模事業者及び大規模事業者が、前回から改善しており、中規模事業者は悪化している。 ・今後はやや水準を上げる見込み。 						

【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第80回調査は、平成25年1月9日に、モニターに対して調査開始。平成25年2月1日回収分までを集計。

	特積	一般	回答事業者 全体
回収数	87	576	592

※一部回答事業者の重複あり

項 目		概 況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅	輸送数量	前回	2	21	38	34	4	(-18)
		今回	1	26	39	31	3	(-8)
		見通	1	18	47	31	3	(-16)
配		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より10ポイント改善した。 ・規模別では大規模事業者が前回から改善しているが、小・中規模事業者は悪化している。 ・今後は水準をやや下げる見込み。 						
以	営業収入 (売上高)	前回	2	18	39	36	6	(-24)
		今回	1	21	48	27	3	(-9)
		見通	1	16	51	30	3	(-17)
外		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より15ポイント改善した。 ・規模別では中・大規模事業者が前回から改善しているが、小規模事業者は悪化している。 ・今後は水準をやや下げる見込み。 						
の	営業利益	前回	2	19	39	31	9	(-26)
		今回	1	21	45	29	4	(-13)
		見通	1	12	55	29	4	(-22)
積		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より13ポイント改善した。 ・規模別ではいずれの規模も前回から改善している。 ・今後は水準をやや下げる見込み。 						
貨	運賃・料金の水準	前回	2	3	72	22	0	(-14)
		今回	0	8	79	13	0	(-5)
		見通	0	6	78	16	0	(-9)
物		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より9ポイント改善した。 ・規模別では小・大規模事業者は前回から改善しているが、中規模事業者は悪化している。 ・今後は水準を僅かに下げる見込み。 						

凡例

	大幅に増加・上昇・好転・人手不足 +2点 やや増加・上昇・好転・人手不足 +1点 横ばい 0点 やや減少・低下・悪化・人手過剰 -1点 大幅に減少・低下・悪化・人手過剰 -2点	(注1) 各グラフの上段は前回の状況、中段は今回の状況、下段は今後の見通しを示す。 (注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。
--	--	--

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、増加・好転+1～+2、横ばい0、減少・悪化-1～-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

$$A \text{ (設問Aの回答者数)} = a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5 \text{ (設問Aの選択肢1～5の回答数の和)}$$

$$\text{指標} = \{ (+2 \times a_1) + (+1 \times a_2) + (0 \times a_3) + (-1 \times a_4) + (-2 \times a_5) \} \div A \times 100$$

4. 一般貨物の概況

項目	概況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%
輸送数量 (全体)	前回	1	20	47	25	7	(-17)
	今回	0	20	42	31	6	(-23)
	見通	0	14	46	34	5	(-31)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より6ポイント悪化した。 ・地域別では近畿、中国、北陸信越が前回から悪化、四国は改善。品目別では機械関連が悪化している。 ・今後は水準をやや下げる見込み。 						
営業収入 (売上高)	前回	1	19	42	30	8	(-24)
	今回	0	20	41	32	6	(-23)
	見通	0	14	45	35	7	(-33)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より1ポイント改善した。 ・地域別では近畿、中国、北陸信越が前回から悪化、四国は改善。品目別では機械関連が悪化している。 ・今後は水準を下げる見込み。 						
営業利益	前回	1	16	43	32	8	(-29)
	今回	1	15	41	36	7	(-34)
	見通	0	11	42	39	8	(-43)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より5ポイント悪化した。 ・地域別では東北、中国が前回から悪化、四国、関東は改善。品目別では機械関連、消費関連が悪化している。 ・今後は水準をやや下げる見込み。 						
運賃・料金の水準	前回	0	2	78	16	3	(-20)
	今回	0	3	77	18	2	(-20)
	見通	0	3	74	19	3	(-21)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回からほぼ横ばいである。 ・地域別では東北、中国が前回から悪化、中部、九州は改善。品目別では機械関連が悪化している。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 						

5. 共通の概況

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
実働率	前回	1	13	56	26	4	(-19)
	今回	1	14	57	24	4	(-17)
	見通	0	10	58	28	5	(-27)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より2ポイント改善した。 ・地域別では東北、関東が改善、北陸信越、九州が悪化。品目別では消費関連、機械関連が悪化している。 ・今後は水準を下げる見込み。 						
実車率	前回	1	13	58	25	4	(-19)
	今回	1	14	59	23	4	(-15)
	見通	0	11	60	24	4	(-21)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より4ポイント改善した。 ・地域別では関東、四国が改善し、北陸信越、九州が悪化している。品目別ではその他貨物が改善している。 ・今後は水準をやや下げる見込み。 						
雇用状況 (人手の過不足)	前回	3	21	66	8	1	(17)
	今回	6	23	64	7	1	(27)
	見通	8	27	54	11	1	(30)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より10ポイント上昇した(不足感が高くなった)。 ・地域別では東北、四国の水準が高く、品目別では消費関連、建設関連の水準が高く、不足感がある。 ・今後は水準を僅かに上げる見込み。 						
採用状況	前回	1	8	77	10	4	(-9)
	今回	1	10	75	12	2	(-5)
	見通	1	13	71	13	2	(-3)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より4ポイント改善した。 ・地域別では四国、関東で前回から改善している。規模別、品目別の全てではほぼ前年並みとなっている。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 						
所定外労働時間	前回	1	9	69	18	2	(-11)
	今回	1	11	73	14	2	(-4)
	見通	0	10	71	17	2	(-10)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より7ポイント改善した。 ・地域別では北海道、関東で前回から上昇している。規模別ではほぼ前年並み、品目別はその他貨物が上昇。 ・今後は水準をやや下げる見込み。 						

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
保有車両台数	前回	1	76	14	2		(-11)
	今回	0	76	14	1		(-6)
	見通	0	76	14	1		(-6)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回より5ポイント改善した。 ・ 地域別では北陸信越が前回より減少、四国、関東では増加している。品目別では消費関連が上昇している。 ・ 今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 							
貨物の再委託 (下請運送会社への 委託割合)	前回	1	70	15	6		(-17)
	今回	1	66	17	3		(-7)
	見通	1	68	16	4		(-10)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回より10ポイント増加した。 ・ 地域別では北陸信越、近畿の水準が低い。規模別では小規模事業者の水準が低い。 ・ 今後は水準を僅かに下げる見込み。 							
経常損益	前回	1	42	31	9		(-31)
	今回	1	41	35	6		(-30)
	見通	0	43	38	8		(-41)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回より1ポイント改善した。 ・ 地域別では関東が前回から改善し、北陸信越、東北では悪化している。品目別では、機械関連が悪化している。 ・ 今後は水準を下げる見込み。 							
業界の景況感	前回	0	44	41	8		(-51)
	今回	0	45	39	5		(-38)
	見通	0	43	38	8		(-43)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回より13ポイント改善した。 ・ 地域別では四国、関東が前回から改善している。品目別では、機械関連が悪化している。 ・ 今後は水準をやや下げる見込み。 							

6. 事業者特性格別の特徴

事業者特性	特 徴																																																												
①地域（注4）	<p>◆「業界の景況感」の業況判断指標の地方ブロック別順位◆</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H 2 4 年 7～9月期前回</td> <td></td> <td>H 2 4 年 1 0～1 2月期今回</td> <td></td> <td>H 2 5 年 1～3月期見通</td> </tr> <tr> <td>1位</td> <td>東 北</td> <td>→</td> <td>東 北</td> <td>↘</td> <td>四 国</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>北 海 道</td> <td>↘</td> <td>四 国</td> <td>↗</td> <td>北 海 道</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>北陸信越</td> <td>↘</td> <td>近 畿</td> <td>↗</td> <td>東 北</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>中 部</td> <td>↘</td> <td>北 海 道</td> <td>↗</td> <td>近 畿</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>近 畿</td> <td>→</td> <td>中 部</td> <td>→</td> <td>中 部</td> </tr> <tr> <td>6位</td> <td>中 国</td> <td>↘</td> <td>九 州</td> <td>↗</td> <td>北陸信越</td> </tr> <tr> <td>7位</td> <td>九 州</td> <td>↘</td> <td>関 東</td> <td>↗</td> <td>九 州</td> </tr> <tr> <td>8位</td> <td>関 東</td> <td>↘</td> <td>中 国</td> <td>↗</td> <td>関 東 国</td> </tr> <tr> <td>9位</td> <td>四 国</td> <td>↘</td> <td>北陸信越</td> <td>↗</td> <td>中 国</td> </tr> </table>		H 2 4 年 7～9月期前回		H 2 4 年 1 0～1 2月期今回		H 2 5 年 1～3月期見通	1位	東 北	→	東 北	↘	四 国	2位	北 海 道	↘	四 国	↗	北 海 道	3位	北陸信越	↘	近 畿	↗	東 北	4位	中 部	↘	北 海 道	↗	近 畿	5位	近 畿	→	中 部	→	中 部	6位	中 国	↘	九 州	↗	北陸信越	7位	九 州	↘	関 東	↗	九 州	8位	関 東	↘	中 国	↗	関 東 国	9位	四 国	↘	北陸信越	↗	中 国
	H 2 4 年 7～9月期前回		H 2 4 年 1 0～1 2月期今回		H 2 5 年 1～3月期見通																																																								
1位	東 北	→	東 北	↘	四 国																																																								
2位	北 海 道	↘	四 国	↗	北 海 道																																																								
3位	北陸信越	↘	近 畿	↗	東 北																																																								
4位	中 部	↘	北 海 道	↗	近 畿																																																								
5位	近 畿	→	中 部	→	中 部																																																								
6位	中 国	↘	九 州	↗	北陸信越																																																								
7位	九 州	↘	関 東	↗	九 州																																																								
8位	関 東	↘	中 国	↗	関 東 国																																																								
9位	四 国	↘	北陸信越	↗	中 国																																																								
②規模（注5）	<p>・業界の景況感は、規模が小さくなるほど水準が低い傾向にある。</p>																																																												
③品目（注6）	<p>・消費関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げた。一般貨物の輸送量としてみると、農水産品の水準が相対的に低い。今後は水準をやや下げる見込み。</p> <p>・建設関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、鉱産品の水準が相対的に低い。今後は水準をやや下げる見込み。</p> <p>・機械関連を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、電気機械、輸送機械は水準が相対的に低い。今後は水準をやや下げる見込み。</p> <p>・その他貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、石炭製品、金属製品の水準が相対的に低い。今後は水準をやや下げる見込み。</p> <div style="text-align: center;"> <p>業界の景況感(品目別、前回からの指標の増減)</p> <table border="1"> <tr> <th>品目別</th> <th>増減</th> </tr> <tr> <td>消費関連貨物</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>建設関連貨物</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>機械関連貨物</td> <td>-12</td> </tr> <tr> <td>その他貨物</td> <td>24</td> </tr> </table> </div>	品目別	増減	消費関連貨物	11	建設関連貨物	12	機械関連貨物	-12	その他貨物	24																																																		
品目別	増減																																																												
消費関連貨物	11																																																												
建設関連貨物	12																																																												
機械関連貨物	-12																																																												
その他貨物	24																																																												

(注4) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。

(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上

中規模事業者：21両以上100両以下

小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

7. 景況感一覽表

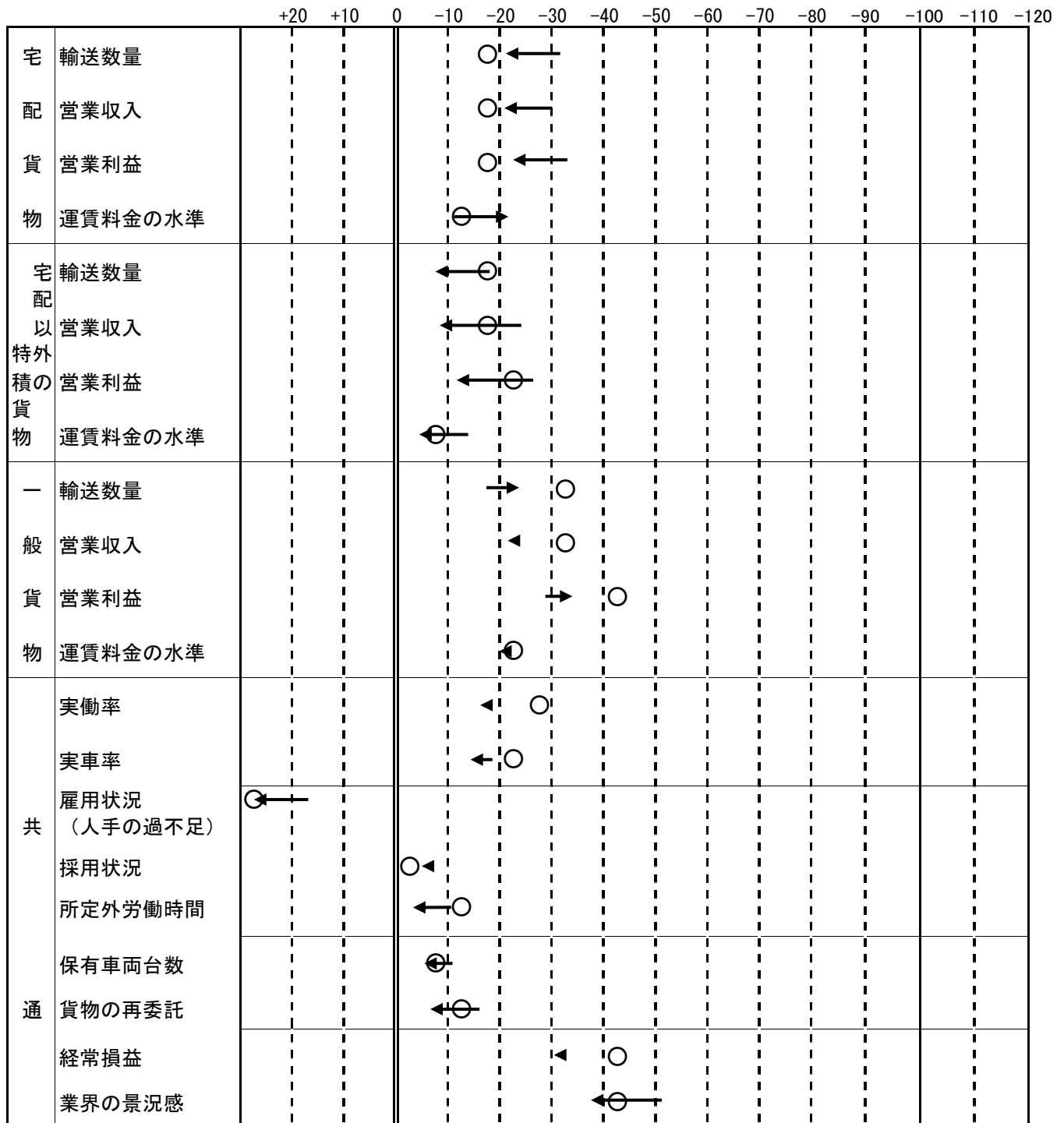
		特積貨物						一般貨物			雇用関連			総合計		
		宅配貨物			宅配以外の特積貨物											
全体		↘	↘	→	↘	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	→
地域	北海道	↘	→	→	→	→	→	↘	→	↘	→	→	→	→	→	→
	東北	↗	→	→	→	↑	↗	→	→	↘	↗	↗	↗	→	→	→
	北陸信越	↘	↘	→	→	→	→	→	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
	関東	↘	→	→	↘	→	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	↘
	中部	↘	→	→	↘	→	→	→	↘	↘	→	→	→	↘	→	→
	近畿	→	↘	↘	→	↘	→	→	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
	中国	↓↓	↓↓	↓↓	→	↗	→	→	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	四国	↓↓	→	→	↓↓	→	→	↘	→	→	→	→	→	↘	→	→
	九州	→	→	↘	→	→	↘	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	↘
事業者規模	小規模事業者	↘	→	→	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	中規模事業者	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	↘	→	→	→	→	→	→
	大規模事業者	→	→	→	→	→	→	→	→	↘	→	→	→	→	→	→
取り扱い品目	消費関連貨物	↘	↘	↘	→	→	↘	→	↘	↘	→	→	→	→	→	↘
	建設関連貨物	↘	→	↘	→	↘	↓↓	↘	→	↘	→	→	→	→	↘	↘
	機械関連貨物	→	→	↘	↗	→	↘	→	↘	↘	→	→	→	→	→	↘
	その他貨物	↘	→	→	↘	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	→

(注7) 各項目は、関連する判断指標（前年同期に対する水準）から平均値を算出。
 貨物別については、輸送数量、営業収入、営業利益、運賃水準の平均値で判断。

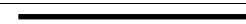
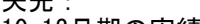

凡例 ・ 各欄は、左：前回（7-9月） 中央：今回（10-12月） 右：見通（1-3月）
 ・ 矢印と判断指数の対応

判断指数	… -100 … -60 … -20 … +20 … +60 … +100 …
矢印	↓↓↓ ↓ ↘ → ↗ ↑ ↑↑↑

8. 業況判断指標の前回調査（平成24年7月～9月期）からの変化

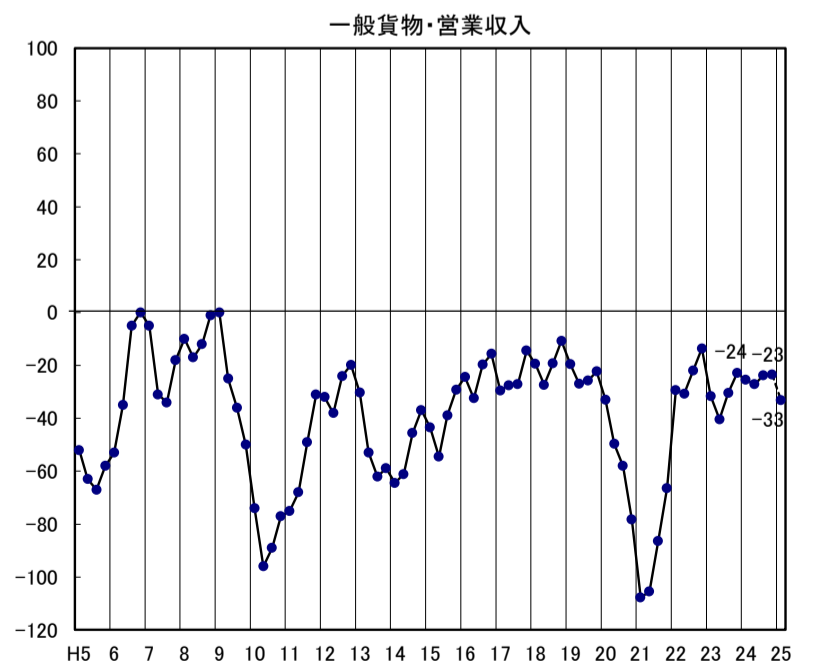
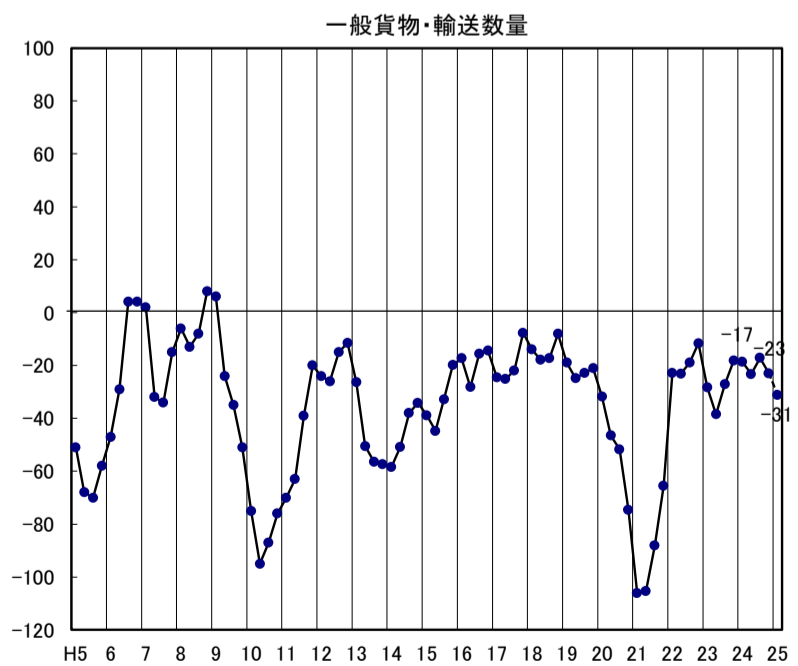
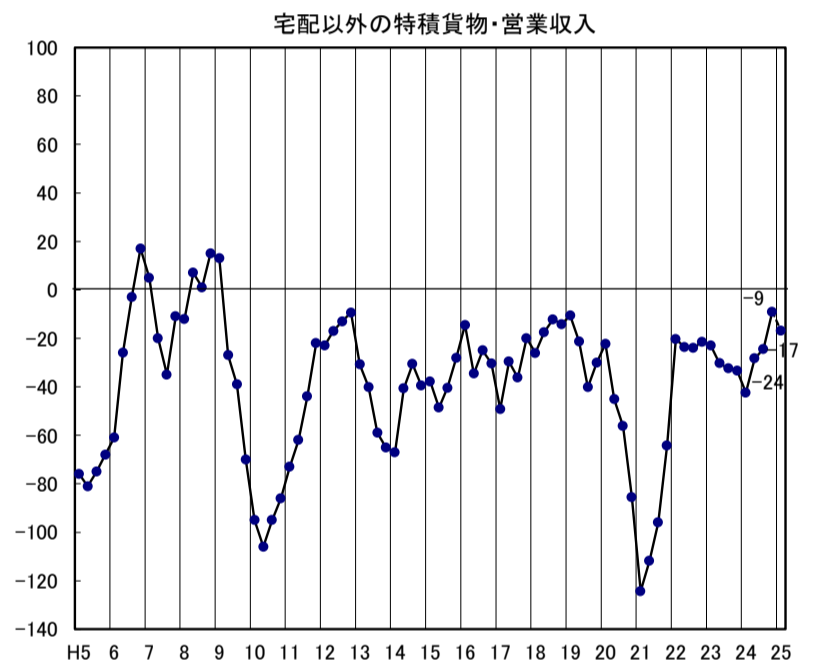
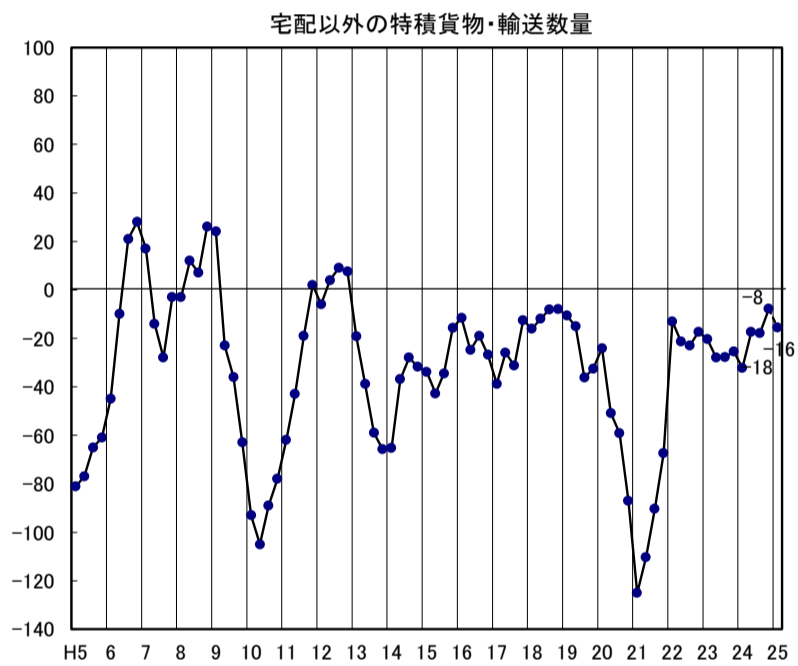
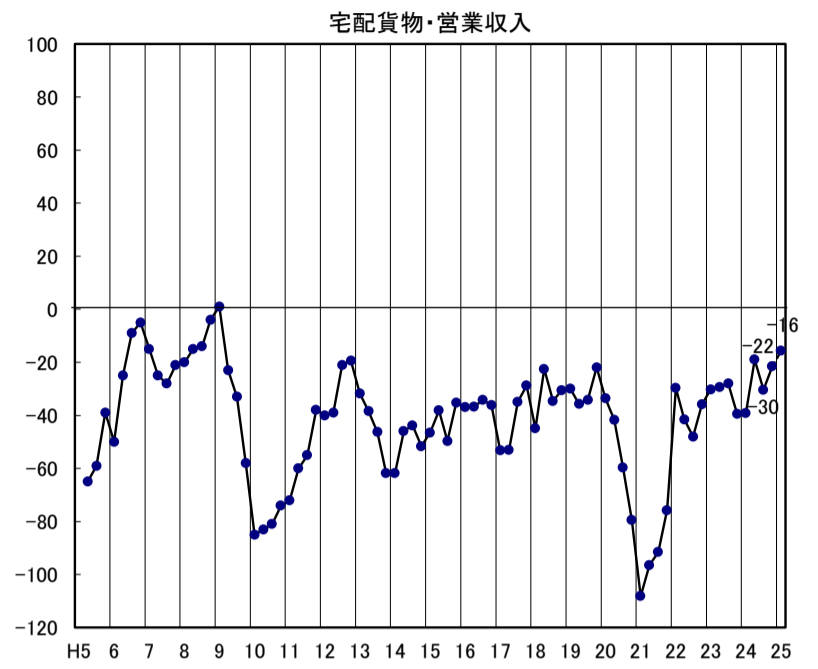
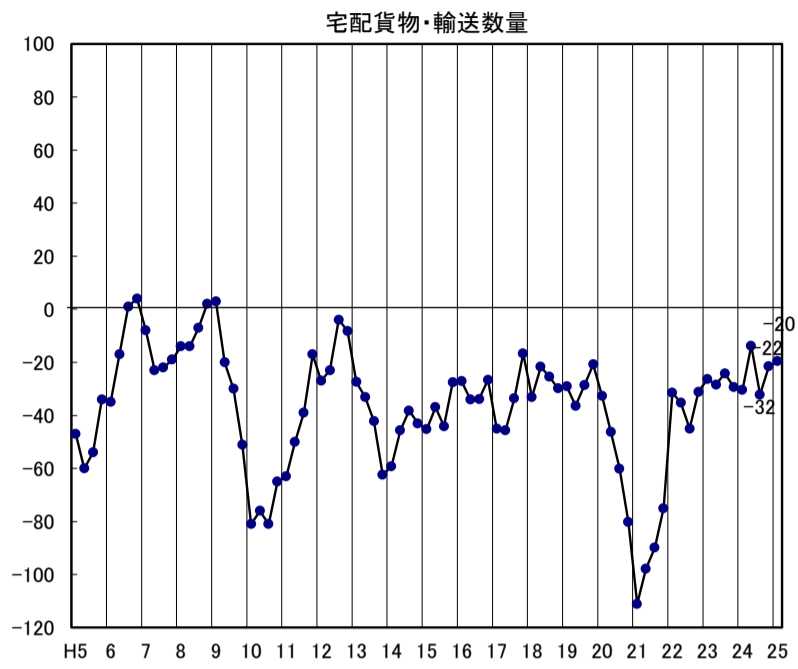


凡例

 矢元：7-9月期の実績
 矢先：10-12月期の実績
 白丸：1-3月期の見通

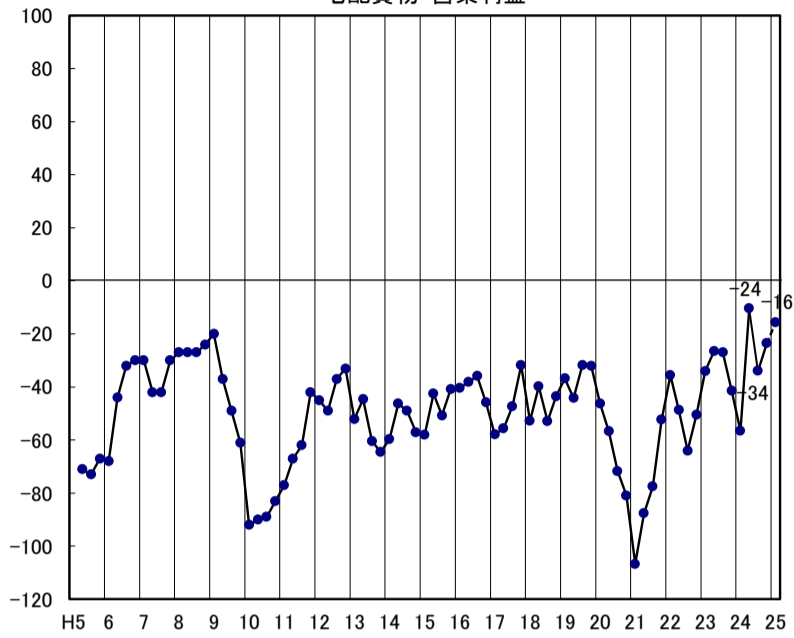
9. 業況判断指標の推移

平成5年第1四半期～平成24年第4四半期実績、平成25年第1四半期見通し

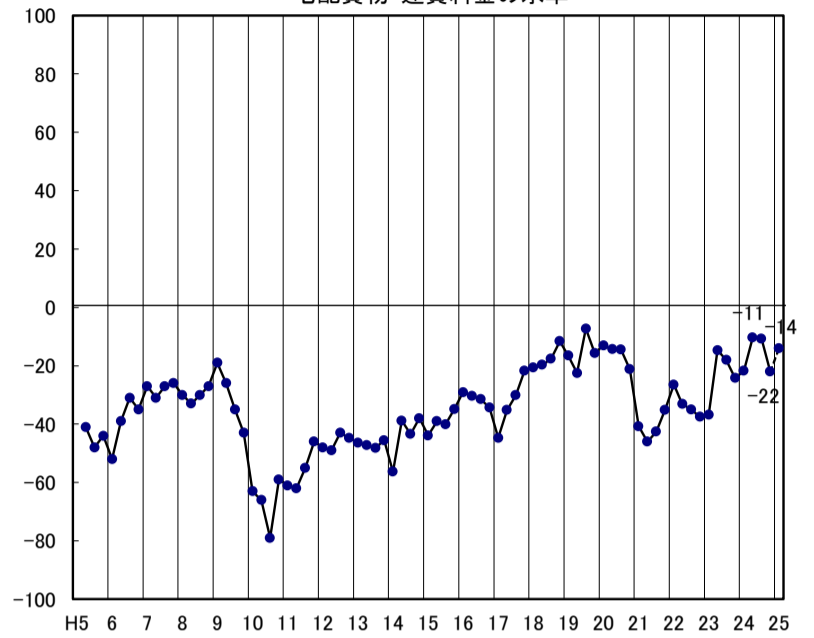


平成5年第1四半期～平成24年第4四半期実績、平成25年第1四半期見通し

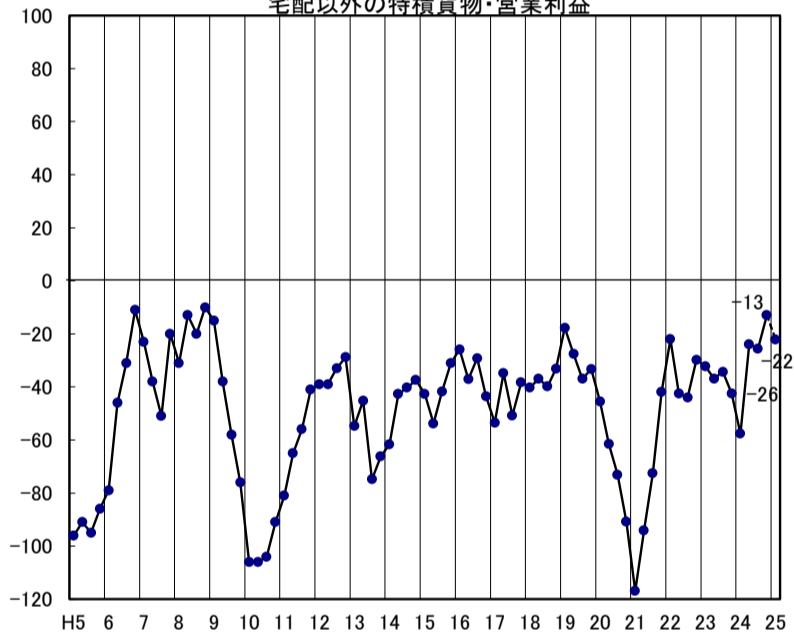
宅配貨物・営業利益



宅配貨物・運賃料金の水準



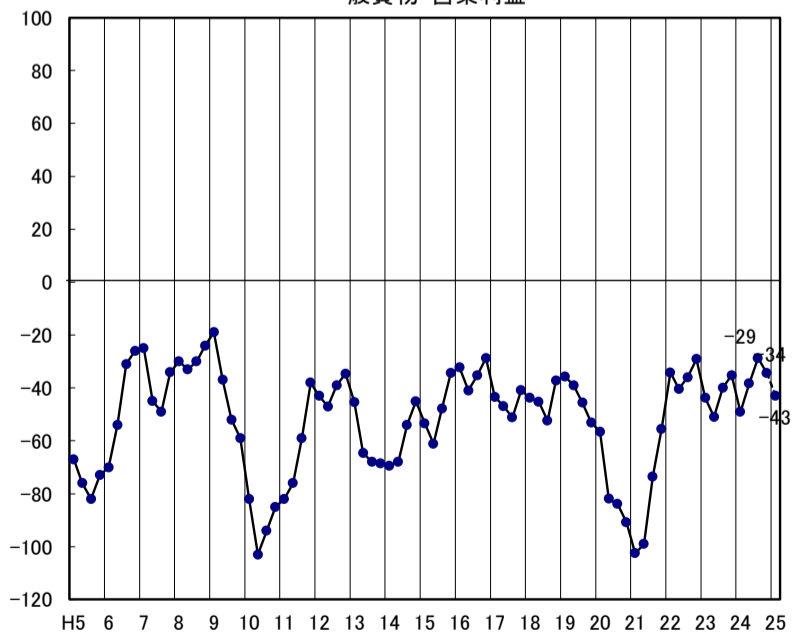
宅配以外の特積貨物・営業利益



宅配以外の特積貨物・運賃料金の水準



一般貨物・営業利益

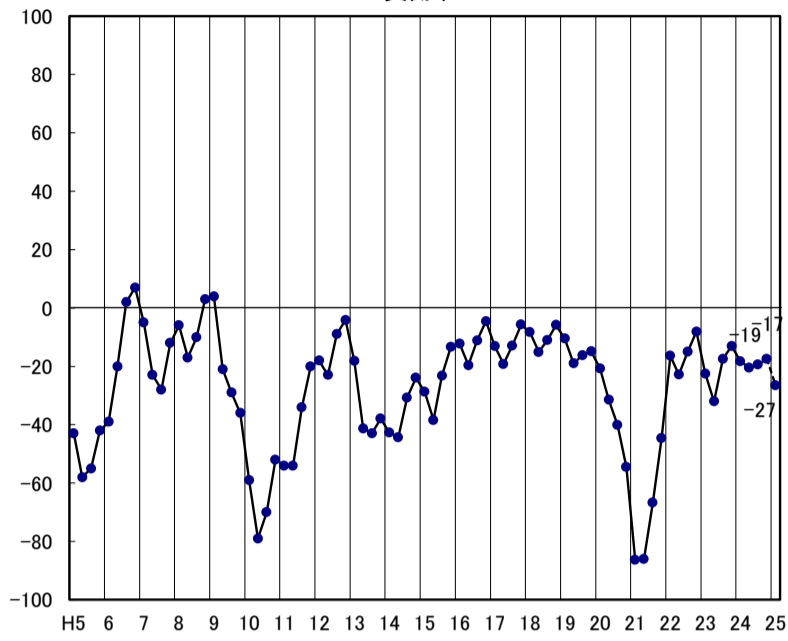


一般貨物・運賃料金の水準

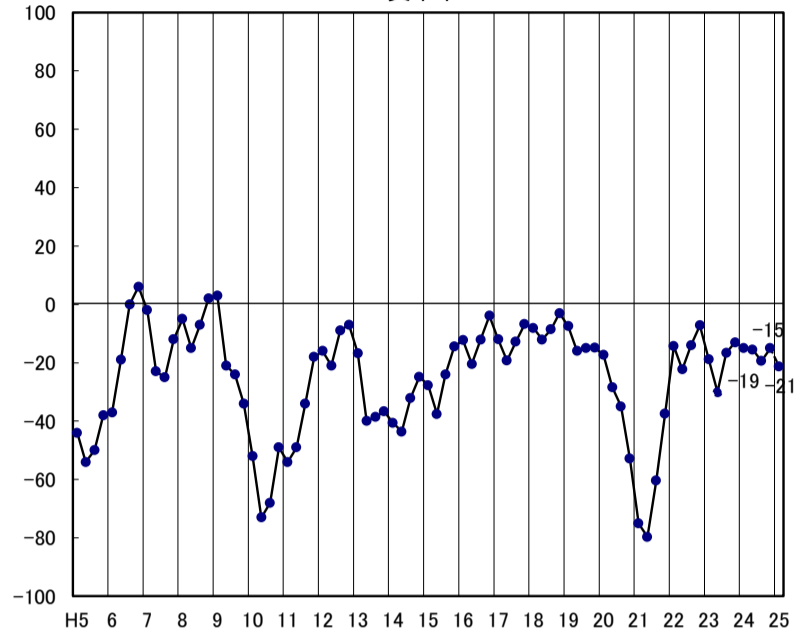


平成5年第1四半期～平成24年第4四半期実績、平成25年第1四半期見通し

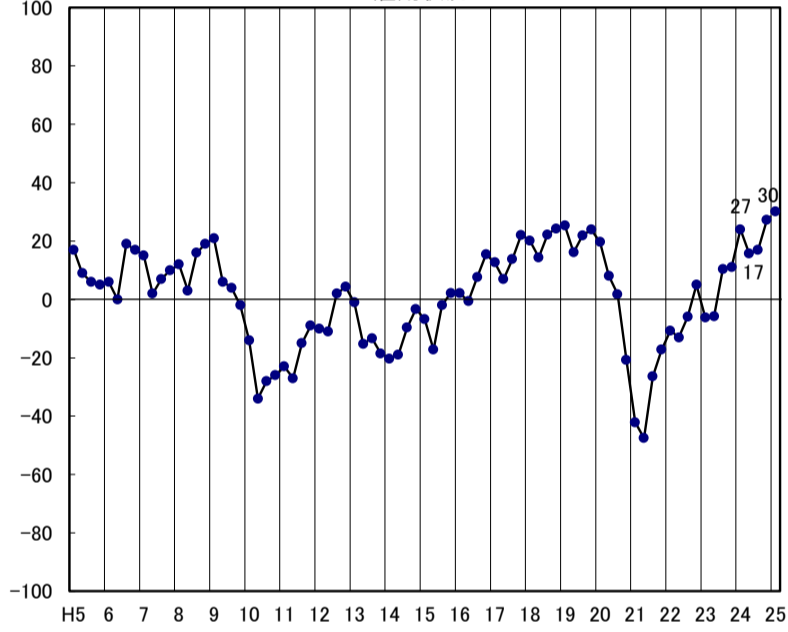
実働率



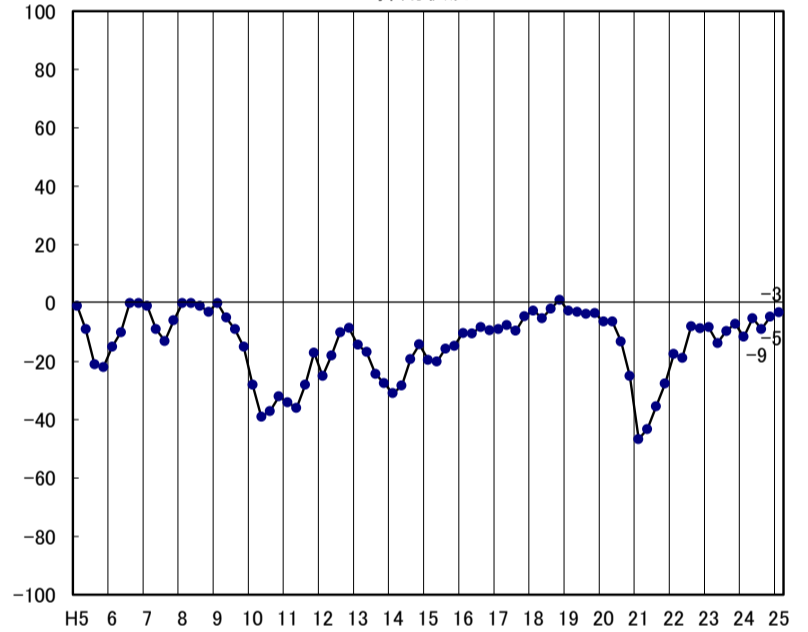
実車率



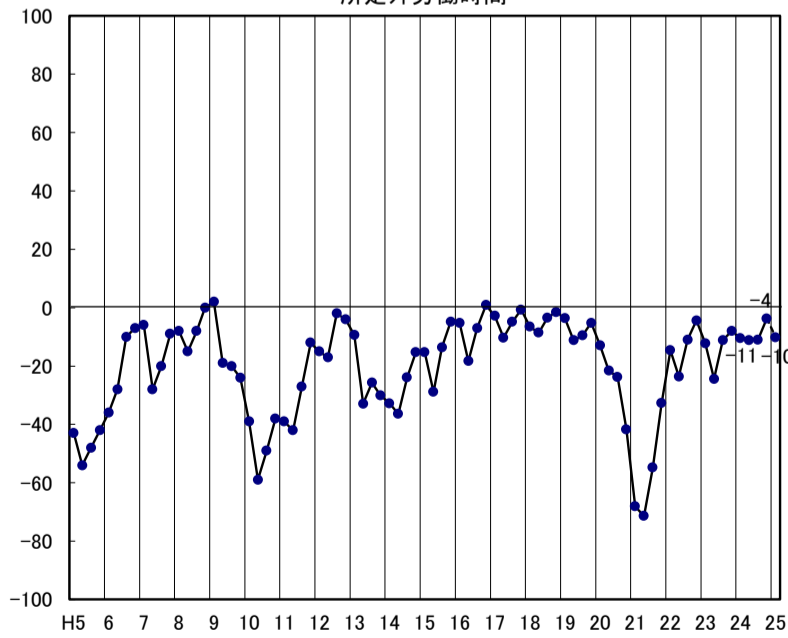
雇用状況



採用状況

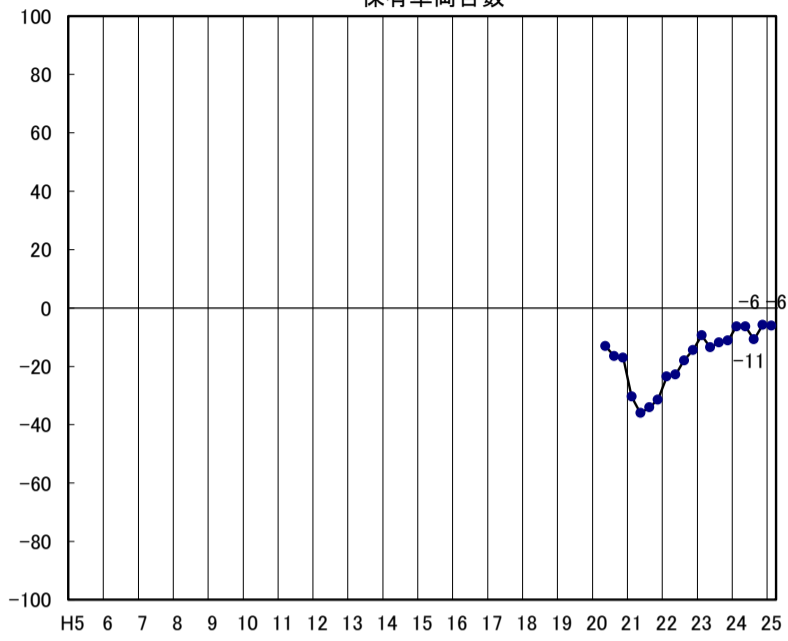


所定外労働時間

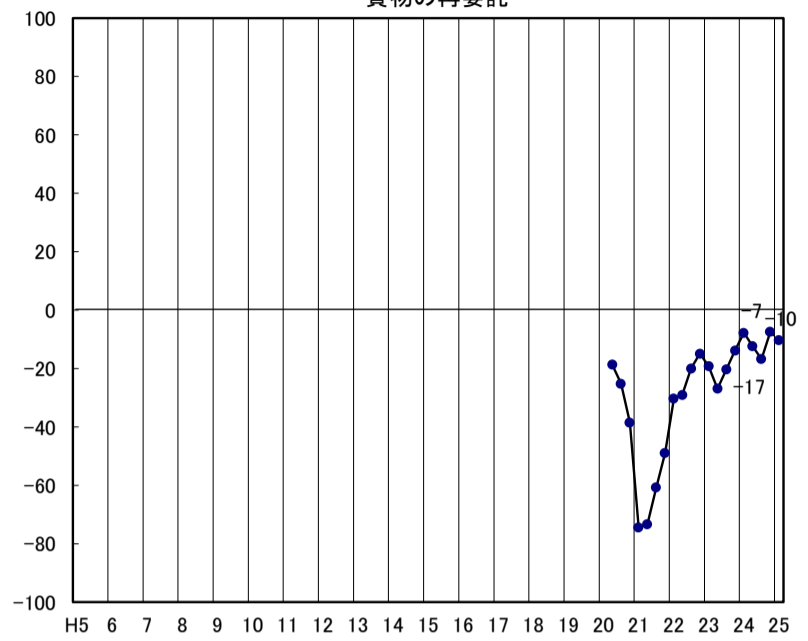


平成5年第1四半期～平成24年第4四半期実績、平成25年第1四半期見通し

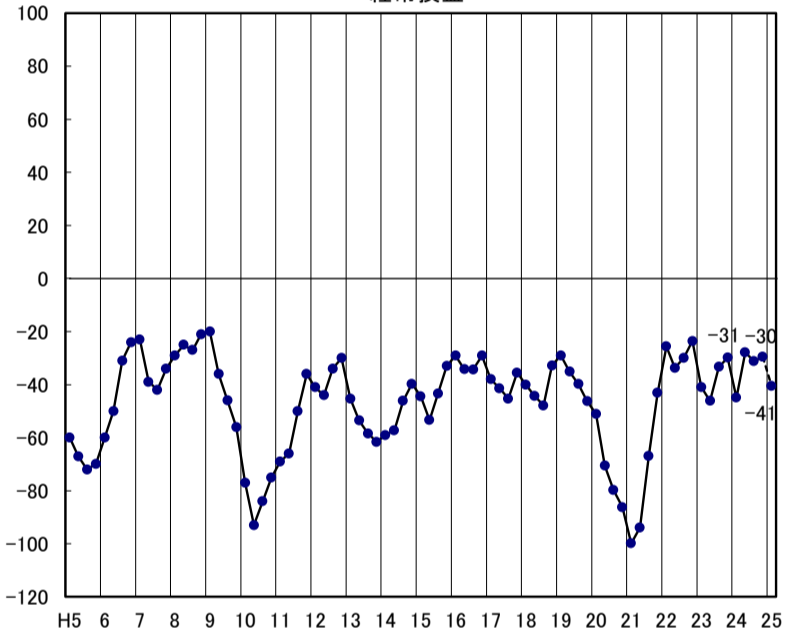
保有車両台数



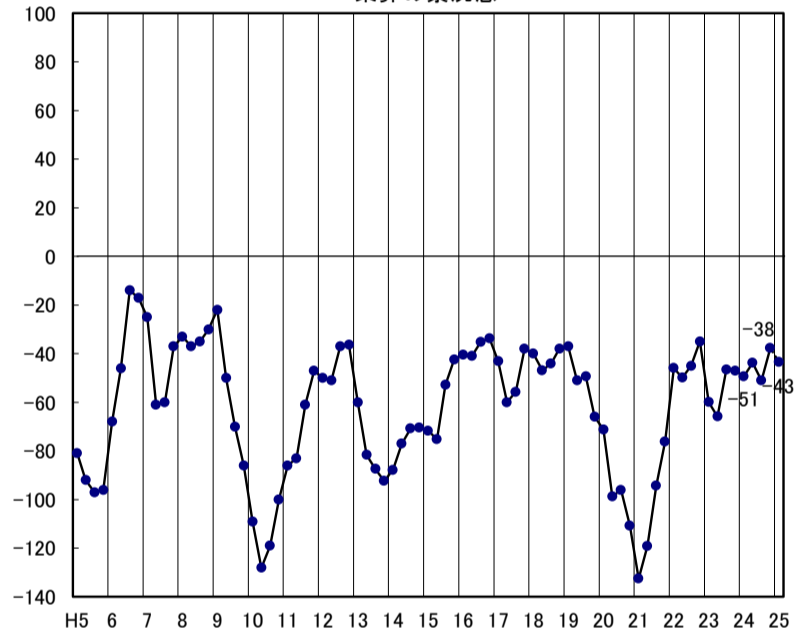
貨物の再委託



経常損益

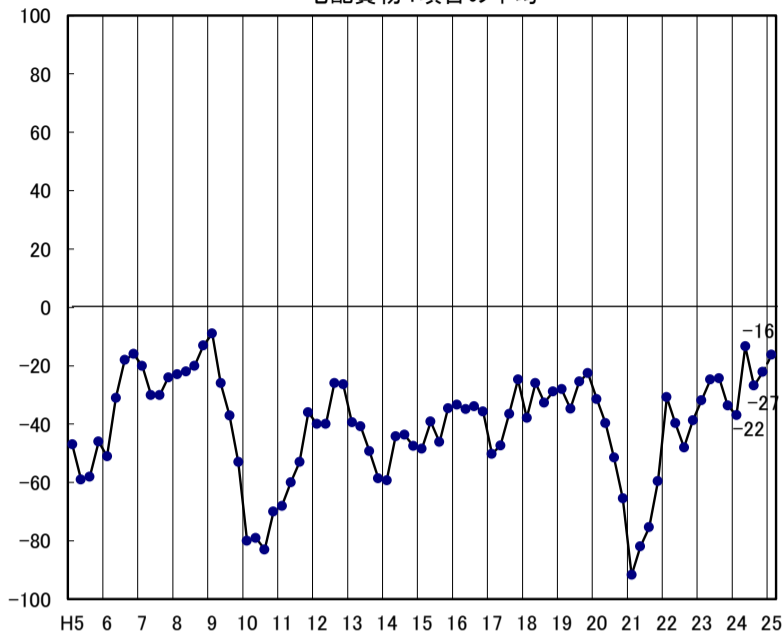


業界の景況感

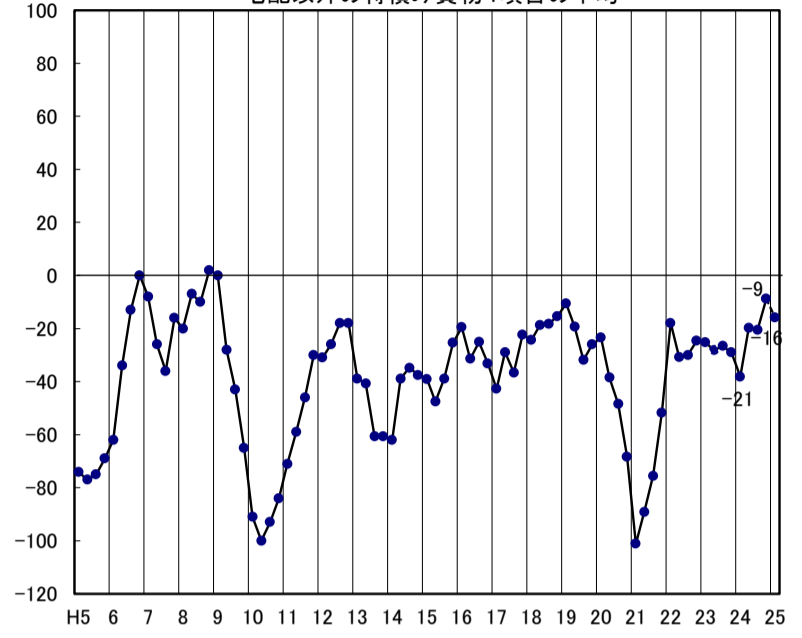


平成5年第1四半期～平成24年第4四半期実績、平成25年第1四半期見通し

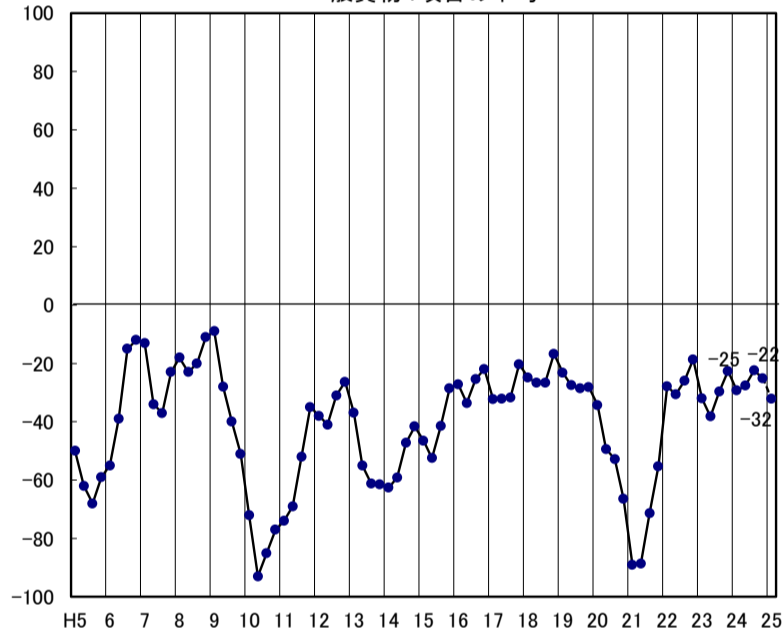
宅配貨物4項目の平均



宅配以外の特積み貨物4項目の平均



一般貨物4項目の平均



全項目の平均

